上越総合病院
地域連携センター便り
2018 11月号

看護部の取り組みについて

副看護部長　山本 淑子

紅葉の季節、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より上越総合病院看護部に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この4月に糸魚川総合病院より異動してまいりました副看護部長の山本と申します。6年ぶりに上越総合病院にお世話になることになり、新築移転当時を思い出しております。

さて、私の役割の一つに「看護師の育成」があります。上越総合病院看護部は「患者さまおひとりお一人を大切にし、優しい看護を提供します」という理念を掲げ、計画的に看護職員の教育をしております。患者さん個人を尊重し、細やかで思いやりのある最適な看護が提供できる看護師を育てていく所存です。

また上越の若者が、看護師を目指していただけるような取り組みもしています。市内の中学生の職場体験、高校生の一日看護師体験や高校・中学校への出張講座などで、看護の楽しさやすばらしさを伝え、看護師の仕事に興味を持っていただけるように努めています。

上越総合病院は地域に開かれた病院、地域に貢献できる地域密着型の病院を目指し、病院祭や看護の日のイベントを開催しています。直江津祇園祭の民謡流しに毎年参加し、地域の皆さんと親交を深めています。また、えちご・くびき野100Kmマラソン（今年は台風の影響で残念ながら中止になってしまいました）や海の救護を担当し、地域の皆さんに貢献したいと思っております。

今、看護師に求められている力は4つあると考えています。

一つは患者さんのいつもの生活を知り、これからの意向を患者さん本人やご家族、地域の医療関係者に確認することのできるコミュニケーション能力。二つは患者さんのためになることは何かを真摯に考える倫理観。三つは患者さんの意向に沿って医療やケアを提供する知識と技術。そして四つは地域の医療関係者の皆様と連携し切れ目のないケアを提供する、その仕組みを調整できるだけの能力であると考えています。

そのような看護師を職員一丸となって計画的に教育してまいります。しかし、地域の皆さん、患者さんにこそ育てて頂いていると思っておりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは
上越総合病院　地域連携センター
電　話　025-524-3000（代表）
ＦＡＸ　025-524-3140（直通）まで

平成30年度 イノベーションレクチャー開催　10月5日（金）

10月5日、国立情報学研究所　社会共有知研究センター長・教授の新井紀子先生から「人工知能（ＡＩ）がもたらす人間と社会の未来」と題してご講演いただきました。
（参加人数、当院職員80名・外部6名、合計86名）

～ 研修会を通して ～

薬剤部長　山本 修也

ＡＩ時代の到来を感じる今日この頃ですが、21世紀に生きるもの、次世代の人間を育てる一人として貴重な講演を拝聴できました。自分が何をすべきか気付かされた研修会でした。

ＡＩも人間も、論理的思考と統計的思考に分かれるのだなと思いました。日々の生活だと統計的思考ばかり使っているとも思いますが、人間は論理的思考と統計的思考を切り替えながら考えることができる一方で、ＡＩはどちらか一方の手法で開発されているものが多いのかな？とも思いました。万能に見えるＡＩには意外とできないことが多く、弱点もあることが分かりました。

だが、人間も年々、知力・読解力のレベルが低くなっていて、結局このままではＡＩに負けてしまいそうなのでは？ととても不安になりつつ拝聴していました。ＡＩをうまく利用しつつも、人間がより知的な仕事ができるようにするためにも、人間の学力、特に読解力を底上げすることが最大の課題であることが分かりました。ＡＩに代替されない人材は「意味を理解する能力を持つ人」だと指摘されました。そして、私たちが人間にしかできないことを考え、実行に移していくことが、生き延びる道のようでした。

われわれが普段行う仕事においても、確かにやり方や方法だけに目が行き、「それをなぜやるのか」といった、仕事の意味を理解しないで作業しているケースは意外と多いと思いました。常に「なぜ？」と考え、物事の本質や意味を問い続けることが大切であると痛感した講演会でした。

併設介護老人保健施設 アルカディア上越紹介　事務課長　五十嵐 由美子

アルカディア上越は、上越総合病院併設の介護老人保健施設です。上越あるるん村の向かいに位置し、「静かであること」、「優しくあること」、「安全、安心であること」を理念に、医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、支援相談員、介護支援専門員、管理栄養士などが多職種協働で、利用者様のサポートをさせていただいております。

当施設は入所が100名、通所リハビリテーションは20名を定員とし、心身機能の維持・改善や生活機能の低下予防を行い、在宅支援・在宅復帰に向けたサービスの提供を行っております。

暖かい雰囲気の中で、生きいきとした生活の場として過ごしていただける、ご利用者様が笑顔で生活できるようサービスを提供していき、地域の医療機関・施設等の多職種の方々と連携し、ご相談に対して職員一同親切丁寧にスムーズな対応を心がけていきたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

新任医師紹介

《出身地　出身大学　趣味・特技　抱負》

消化器内科

島田（しまだ） 清太郎（せいたろう）

出　身　地：富山県
出 身 大 学：関西医科大学
趣味・特技：ゴルフ・ランニング
抱負：上越市の医療に貢献できるように努力しますので、よろしくお願いします。

小児科

坂井（さかい）　知倫（ともり）

出　身　地：新潟市
出 身 大 学：新潟大学
趣味・特技：サッカー
抱負：地域の小児医療に貢献できるよう頑張ります。

整形外科

石田（いしだ）　善浩（よしひろ）

出　身　地：石川県河北郡津幡町
出 身 大 学：鳥取大学
趣味・特技：格闘技
（総合格闘技･ブラジリアン柔術を15年ほど）
抱負：医師として3年目、整形外科としては1年目で、初めての土地での赴任となります。持てる全ての力で診療に尽力させて頂きます。よろしくお願いします。

病院祭

10月13日(土)に開催されました

医療講演 蔵本医師

開会あいさつ

アロマ ハンド マッサージ

AED講習

よさこい踊り

手術室見学

職場紹介パネル

働く車体験乗車

「ふるさと」合唱

血糖測定

ヨーヨー釣り

フランクフルト販売

バルーンアート

新潟厚生連　上越総合病院　医師一覧表

H30年10月現在

内科	呼吸器	外山譲二	外科	乳腺外来	藤田亘浩
	呼吸器	清水崇			伊達和俊
	呼吸器	竹内寛之			小出則彦
	呼吸器	坪川史人			藤田加奈子
	消化器	佐藤知巳			平島浩太郎
	消化器	合志聡		非常勤医師	相原隆充
	消化器	鈴木庸弘	呼吸器外科	非常勤医師	本間崇浩
	消化器	島田清太郎		非常勤医師	北村直也
	消化器	吉田悠紀	脳神経外科		江塚勇
	腎・糖尿病	亀田茂美			荒川泰明
	腎・糖尿病	永野敦嗣		非常勤医師	亀山茂樹
	内科	清水夏恵	産婦人科		相田浩
内科（非常勤医師）	腎・糖尿病	上野光博			小幡宏昭
	糖尿病内分泌	皆川真一			黒澤めぐみ
	糖尿病内分泌	笹岡利安			廣川哲太郎
	糖尿病内分泌	岡部圭介	耳鼻咽喉科	非常勤医師	高倉大匡
	血液	野村憲一		非常勤医師	阿部秀晴
	和漢	藤本誠	眼科		佐藤昭一
	和漢	野上達也			平島みほ
総合診療科		大堀高志			新田康人
		麻生祐嗣		非常勤医師	三原美晴
		近藤優美		非常勤医師	宮腰晃央
循環器内科		篭島充	整形外科		渡部公正
		長谷川智也			相場知宏
		中澤峻			石田善浩
		西脇渓		非常勤医師	東條猛
神経内科		福原信義		非常勤医師	金森昌彦
		鈴木隆		非常勤医師	元村拓
		七澤繁樹	泌尿器科		里見定信
	非常勤医師	春日健作			林哲章
	非常勤医師	徳武孝允		非常勤医師	渡部明彦
	非常勤医師	畠山公大	救急科		丸山正則
	非常勤医師	山口浩輝	麻酔科		朝日丈尚
	非常勤医師	坪口晋太郎			加藤晋
小児科		土谷修一			加藤麻紀子
		坂井知倫	歯科口腔外科		桑原徹
	非常勤医師	雅楽川隆	病理診断科		関谷政雄
皮膚科		竹上與志昌	検査科		巻渕隆夫
放射線科		加藤洋			

早朝検査の実施について（予約患者様のみ）
当院では、外来患者様の待ち時間を短縮する取り組みとして、検査の受付時刻を従来の8時30分より30分早めて行っております。
それにより患者様にはスムーズに診察を受けて頂けると考えております。